

金屬電解研磨法に関する實演

本件に関し下記の通り兵庫縣機械金屬工業試驗場長より申越しがありましたので取り敢へず會員諸君へ御通知申し上げます。

昭和 25 年 3 月 日

兵庫縣機械金屬工業試驗場長

丹 羽 成 徳 [印]

鐵 鋼 協 會 殿

謹啓 時下初春の砌貴會に於かれましては益々御盛榮のこと、拜察しお慶び申し上げます。

仰て、來る 3 月 15 日より 3 ヶ月間に亘り、神戸市に於て兵庫縣及び神戸市の主催の下に「日本産業貿易」博覽會が開催されます。之に對し當試驗場及び神戸大學工學部並に中日本重工業の共催のもとに「金屬電解研磨法」に関する實演を下記要領により、贊助出演することに決定しました。ついでには貴會に於かれましては何卒御高覽の上御批判並に御指導を賜り度く以て今後の進歩發達へ寄與いたし度いと考へます。

右御案内旁々御願ひ申し上げます。

- 記
1. 場 所 神戸市灘區王子町「王子公園」科學技術館内
 2. 期 間 自 昭和 25 年 3 月 15 日 至 昭和 25 年 6 月 15 日
 3. 出演品目 「金屬電解研磨法」
高炭素鋼，非鐵合金，不銹鋼，其他金屬製品の多量生産方式の實演。

正 誤 表

“鐵 と 鋼”

第 36 年第 2 號所載「鋼の燒入殘留應力に及ぼす變態及び熱收縮の影響」中

頁	列	行	誤	正
16		上より 8	Ni-Fe alloy, specimens	Ni-Fe alloy specimens
16	英文	下より 5	takes place it the	takes place in the
17	左	上より 7	時に Ar”	特に Ar”
17	左	下より 16	變態を	變態量を
17	右	上より 4	燒鈍の後出の一部	燒鈍の後其の一部
18	左	上より 1	f, f_b, ρ, λ	f, f_b, φ, λ
18	左	上より 6	$1.82 \times 10 \text{ kg/mm}^2$	$1.82 \times 10^4 \text{ kg/mm}^2$
18	左	上より 14	ρ	φ
18	右	下より 12	起す	超す
19	左	上より 8	のみになるものと	のみによるものと
20	左	上より 17	働かれければ	働かなければ
21	右	下より 4	熱應力を分離して	熱應力と變態應力を分離して
24	左	上より 6	強性化	脆性化
25	右	下より 23	急冷	冷却
25	右	下より 21	應力型	應力値
26	右	上より 4	2, 鐵と鋼	1, 鐵と鋼